



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送りください。

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

### 平成25年度国立天文台フェロー (年俸制特任助教)の公募

国立天文台フェローは、自立した優秀な若手研究者を採用し、国立天文台において研究活動を行っていた制度です。なお、国立天文台の従来のプロジェクト枠研究員も、平成25年度採用分からは新たに年俸制特任研究員の制度に変わります。これについては来月号の天文月報で募集します。

1. 年俸制特任助教 若干名
2. (1) 受入責任者の所属するプロジェクト、センター、研究部  
(2) 国立天文台の三鷹、水沢、野辺山、岡山、ハワイ、チリのいずれかのキャンパス
3. 天文学および関連分野
4. 基本的に義務的業務はなく、研究や開発に専念していただきます。
5. (1) 平成25年4月1日以降、ただし平成25年9月30日までに着任していただきます。  
(2) 原則として着任日より5年間ですが、年度ごとに業績評価を受け契約を更新していただくこととなります。任期満了後の再任は原則としてありません。
6. 博士の学位を取得した者又は平成25年3月31日までに取得見込みの者。
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究論文リスト（査読論文と、その他を区別し、共著論文の場合は著者名をすべて明記すること）、(4) 主要論文3編

以内のPDFファイル、(5) 研究計画書（希望する勤務地と受け入れ責任者を明記のこと）、(6) 推薦書を頼む場合は、推薦者の名前（1名に限る）。推薦書は推薦者が応募締め切りまでに提出先へ送ること。

8. 平成24年10月15日（月）正午必着
9. (1) 応募書類、推薦書とも  
[appl\\_fellow2013@nao.ac.jp](mailto:appl_fellow2013@nao.ac.jp) へ  
メール添付で送付のこと。（2013は数字、他の1はエル）  
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台研究連携主幹 桜井 隆  
Tel: 0422-34-3936  
e-mail: [sakurai.takashi@nao.ac.jp](mailto:sakurai.takashi@nao.ac.jp)
10. 応募書類が受理されると確認のメールを送るので、それが届かない場合は  
[inquiry\\_fellow2013@nao.ac.jp](mailto:inquiry_fellow2013@nao.ac.jp) へ問い合わせること。（2013は数字、ほかの1はエル）
11. 採用審査：書類および面接により候補者を選考し、運営会議の議を経て年俸制特任助教として採用を決定します。  
身分・待遇：裁量労働制の常勤職員として月額50万円の給与および通勤手当、年間100万円の研究費が支給されます。着任のための旅費も支給します。健康保険、年金については文部科学省共済組合に加入していただきます。ボーナス、退職金の支給はありません。科学研究費補助金の応募資格があります。国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。詳しくは<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokuyodo/> をご覧ください。

## 人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

## 東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教員

1. 2012年5月(第105巻第5号)
2. 松永典之(東京大学大学院理学系研究科研究員)
3. 2012年9月1日

### 賞の推薦

#### 「宇宙科学奨励賞」候補者推薦依頼

公益財団法人宇宙科学振興会では、宇宙科学分野で優れた研究業績を上げ、宇宙科学の発展に寄与した若手研究者を顕彰し、宇宙科学奨励賞を授与いたします。ここに平成24年度の第5回宇宙科学奨励賞候補者のご推薦を募集いたします。詳細は当財団のホームページ(<http://www.spss.or.jp>)に掲示しておりますが、当奨励賞の概要は以下のとおりです。皆様のご推薦をお願い申し上げます。

表彰の趣旨：宇宙理学(地上観測を除く)分野および宇宙工学分野で独創的な研究を行い、宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績を上げた若手研究者個人を顕彰。

授与機関：公益財団法人 宇宙科学振興会

候補者：上記分野で優れた業績を上げた37歳以下(当該年度の4月1日現在)の若手研究者個人。候補者の推薦は他薦に限る。

業績の審査：業績の審査は、推薦理由となる研究業績に関連して発表された論文に基づいて、当財団が設置する選考委員会において行う。

賞の内容：授賞は原則として毎年宇宙理学関係1名、宇宙工学関係1名とする(ただし適格者のいない場合は受賞者なしとする場合がある)。受賞者には本賞(賞状と表彰楯)および副賞(賞金20万円)が贈られる。

推薦締切日：2012年10月31日(水)必着。

表彰式：選考結果は推薦者と受賞者に通知するとともに、当財団ホームページに発表する。その後2013年3月に表彰式を行い、受賞者には受賞対象となった研究に関する講演をしていただく。

なお、推薦の手続きの詳細については財団のホームページ(<http://www.spss.or.jp>)をご覧ください。推薦書式をダウンロードして必要事項を記載のうえ、(1)候補者の略歴、(2)論文リスト、および(3)推薦の対象となる論文の別刷等必要書類を添付のうえ、電子メー

ルにて投稿ください。

お問い合わせ先および推薦書送付先：

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1

公益財団法人宇宙科学振興会 事務局

Tel: 042-751-1126

Fax: 042-751-2165

e-mail: [admin@spss.or.jp](mailto:admin@spss.or.jp)

#### 第15回 大学女性協会守田科学研究奨励賞 受賞候補者募集要項

趣旨：本賞は、化学教育者・故 守田純子氏から遺贈された資金をもとにして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を育成することを目的として、1998年に設けられたものです。

対象：自然科学分野において、優れた研究成果を上げており、科学の発展に貢献することが期待される40歳未満(応募締切日現在)の女性科学者を対象とします。

授賞件数：年2件以内、賞状および副賞50万円を贈呈します。

提出書類：1. 研究題目とその概要、今後の展望および抱負(A4判2頁以内)、2. 推薦状、3. 履歴書(写真貼付)、4. 研究業績リスト、5. 主要な論文5編以内の別刷、それぞれ3部(論文別刷はコピーでも可、返却しません)

応募締切日：2012年11月30日(金)(必着)

選考結果の通知：2013年3月

書類送付先・連絡先：一般社団法人 大学女性協会

〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6-101

Tel: 03-3358-2882 Fax: 03-3358-2889

<http://www.jauw.org>

e-mail: [jauw@jauw.org](mailto:jauw@jauw.org)

### 研究助成

#### 平成25年度笹川科学研究助成

平成25年度笹川科学研究助成につきましては、例年とおりに募集を行うこととなりましたので、募集告知のポスターの掲示等、周知にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、「実践研究部門」につきましては、募集内容・期間等が昨年度と一部変更になっておりますので、募集要項等をよくお読みのうえ、ご申請ください。

◆詳細は、本会Webサイトをご覧ください。

<http://www.jss.or.jp/sasagawa/index.html>

◀募集告知ポスター▶

下記URLよりダウンロードしてください。

<http://www.jss.or.jp/sasagawa/poster/poster.html>

◀募集期間▶

○学術研究部門：平成24年10月1日～

平成24年10月15日

○実践研究部門：平成24年11月1日～

平成24年11月15日

◆本会Webサイトにリンクをしていただける際には、お知らせ願います。

◀お問い合わせ先▶

公益財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係  
〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2

日本財団ビル5F

Tel: 03-6229-5365 Fax: 03-6229-5369

e-mail: [josei@jss.or.jp](mailto:josei@jss.or.jp)

URL: <http://www.jss.or.jp>

## 研究会・集会案内

### 市民講座の開催要項

#### 京都大学グローバルCOEプログラム

#### 「普遍性と創発性から紡ぐ次世代物理学」

#### 第5回 市民講座「宇宙と物質の謎に迫る」

2008年度からスタートしたグローバルCOEプログラム「普遍性と創発性から紡ぐ次世代物理学」では、物理学における最先端の成果を広く一般市民の方々に知って頂くため、第5回市民講座を開催します。これは21世紀COEプログラム「物理学の多様性と普遍性の探究拠点」の主催で2007年まで5回にわたり行われてきた市民講座の後を引き継ぐもので、京都大学の三人の先生方に最新の話題について分かり易く解説して頂きます。なお、GCOEの企画としては今回が最後となります。

日 時：2012年10月14日（日）午後1時～5時半

会 場：京都大学百周年時計台記念館（大ホール）

#### 講演プログラム

1. 早川尚男（はやかわ ひさお）（京都大学基礎物理学研究所 教授）

「熱力学の世界—蒸気機関から量子ポンプまで—」

2. 永江知文（ながえ ともふみ）（京都大学理学部

物理学第二教室 教授）

「クォークの世界を探る」

3. 鶴 剛（つる たけし）（京都大学理学部物理学第二教室 教授）

「灼熱宇宙の謎—X線天文衛星による宇宙観測—」

講演会終了後、午後5時半から6時半まで、講師の方々との懇話会（質疑応答）を開く予定です。

対 象：中高生以上

受講料：無料

定 員：500名（懇話会は約30名、申し込み多数の場合は、申し込みハガキ又は電子メール先着順。）

申し込み方法：往復ハガキまたは電子メールに、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、懇話会への出席希望の有無、をご記入の上、下記宛にお送り下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学大学院理学研究科 物理学教室内  
グローバルCOE事務局

市民講座「宇宙と物質の謎に迫る」係

電子メール：[gcoe-shimin@scphys.kyoto-u.ac.jp](mailto:gcoe-shimin@scphys.kyoto-u.ac.jp)

申し込み締め切り：10月10日（水）必着

交 通：会場の京都大学時計台記念館には公共交通機関でお越し下さい。（バス停：京大正門前より徒歩五分）

講演に関する問い合わせ先：

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学大学院理学研究科 物理学教室内  
グローバルCOE事務局

Tel: 075-753-3758（電話・Faxによる申し込み受付は行っておりません）

主 催：京都大学グローバルCOE「普遍性と創発性から紡ぐ次世代物理学」

<http://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/gcoe/>

共 催：最先端科学の体験型学習講座

後 援：京都新聞社、物理教育学会、天文教育普及研究会、京都市教育委員会、京都府教育委員会

世話人：太田耕司（京大理宇宙物理学教室）、国友浩（京大基礎物理学研究所）、市川温子（京大理物理学第二教室）、柴田一成（京大理附属天文台）、高西陽一（京大理物理学第一教室）、鶴 剛（京大理物理学第二教室）、九後太一（基礎物理学研究所）

## 会務案内

### 【日本天文学会理事会議事録】

日時：2012年6月23日(土) 13:00~18:00

場所：八重洲ホール 302号室

出席理事：岡村，杉山，河合，本原，竹田，松尾，  
田代，幸村，茂山，柏川，吉川，山田，  
太田，仲野（以上14名）

欠席理事：梅村（以上1名）

また，西野事務長およびに参考人としてPASJ編集顧問の桜井 隆氏が出席した。

#### I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち，議長と署名人の確認がなされた。

議長：岡村定矩

署名人：竹田洋一，本原顕太郎

I-2 前回議事録の確認（資料2，本原）

資料1に基づき，前回（2012年3月19日）の理事会議事録が報告・確認された。

#### II. 報告

II-1 前回以降の新入・退会等会員の変動（資料3，本原）

2012年3月13日より2012年6月20日までの間の会員変動が報告された。新入会は正会員59名，準会員31名，団体会員1団体で，退会者は14名，1団体であった。相変わらず準会員で入会する大学院学生が特定の大学で多く見られ，正会員の趣旨を伝えるキャンペーンを早急に行うこととした。

II-2 事業担当理事の近況

1. 年会（幸村）

秋季年会の申し込みが完了し，709件の申し込みがあった。その内，30%の支払いがまだ完了していない。6月29日にプログラム編成会議を行う。また，来年の春季年会時の会員全体集会開催に必要な時間枠については，基本的にこれまでの総会と同じではあるが，入場時のチェックがなくなるためその分の時間は短くなるだろう。

2. 天文月報（柏川）

編集委員の努力により，原稿は増えてきている。巻頭グラビアやソフトウェア紹介など新たな企画が始まりつつあるので期待してほしい。

3. PASJ（資料4，茂山）

レターのページ数制限を，他のメジャー誌に合わせて5ページに緩めた。来年度から学術誌関連の科研費制度が大幅に変更されることが判明した。これまでの定期的な学術誌刊行に代わり，国際情報発信強化に対する目標設定が求められる模様。PASJは平成25年度までは現行の枠組みでの科研費交付が決定しているのので，来年度の新制度への申請は見送ることを考えている。

4. 庶務（本原）

天文学会のサーバを，すべてレンタルサーバに移行した。これにより，ハードウェア障害や停電などに対する心配は基本的にはなくなる。

5. 会計（松尾）

会計のシステムを変更し，新法人法に対応したものとした。大幅な変更が行われていることに注意が必要である。

6. 天文教育（吉川）

講師派遣プログラムの名簿のアップデートを行っている。現在の講師派遣プログラムは手動で行っており，年間十数件。科学館や地方からの依頼が多い。

II-3 事務所の近況報告（西野，資料5）

現在11名が事務所で作業しており，勤務状況などには変化はない。

II-4 今後の年会の準備状況

1. 大分大学（仲野，資料6）

会場利用料は全額免除となった。アルバイト学生は現在募集中。会場での無線LANの使用が可能となった。利用者は申し込み用紙に記入してIDを申請する。上記無線LANでどこでもネットワークに接続は可能であるが，休憩室としても使えるインターネット部屋を確保する。

懇親会内容はこれから決定するが，定員は250名である。

II-5 次期役員，委員会について（本原）

次期は年度変更の関係で年会が5回開催されるため，開催地理事の数が5名となり，理事の総数も16名となる。

II-6 会長・代議員選挙について（本原）

会長選挙，代議員選挙は7月20日が立候補締め切り，8月7日より投票が開始されて9月7日開票となる。また，会員から代議員選挙の推薦委員会への推薦は正会員以外も行えるのかという問い合わせがあったが，これは正会

員のみであることが確認された。代議員選挙施行細則に曖昧な部分もあるため、来年以降に修正することも検討する。

II-7 新法人移行スケジュールについて（杉山，本原）  
4月15日に実務理事がまる一日集まり申請書類をほぼ完成させた後、各種修正を経て6月4日に新法人移行申請を行った。申請の受付の連絡は既にあり、順調に進めば今年末に承認され、移行登記を行って2013年度より公益社団法人となる。

II-8 日韓合同セッション（河合）  
日本側世話人の柴田一成氏と相談をしている。2013年度春、あるいは秋の開催となるだろう。

II-9 新法人の内規の検討状況（資料10，杉山）  
新法人への移行に伴い、細則および内規の体系の再見直しを行い、大幅な改訂を検討している。内規については理事および各委員会委員長に回覧して意見収集した後、秋の評議員会での承認を考えている。

### III. 議題

III-1 OUPへの製作販売委託の承認（資料4，茂山，桜井）

現在のPASJの大きな問題点として、受理後出版まで非常に時間がかかっていることがある。これは、誌面製作時の編集校正によるものである。これに対し、誌面制作のサポートと販売をOxford University Press (OUP) に委託することが提案された。メリットとしては、受理から電子版の公開まで6週間以内となること、印刷代の大幅な圧縮、OUPへの販売委託による購読数の増加などがある。デメリットは、為替レートの変動、イギリスのインフレ率に合わせた年間数%の値上げ、E-openの大幅な値上げ（論文あたり20万円程度）などがある。

利益・損失はOUPと学会で7:3で分配する。収支のシミュレーションでは移行初年度でも300万円程度の赤字と現在の2,000万円程度の赤字に比べ大幅に改善することが期待される。開始するとすれば最速2014年度となる。これに対し、誌面電子データの所有権はどうなるのかという質問がなされ、学会側に帰属し、他出版社への移行時も問題ないことが確認された。また、校正や誌面のスタイルは現状のものが維持できるのかという質問がなされ、現在のノウハウを残すために校閲と編集

作業の1/4は天文学会側が担当する体制とすることが説明された。以上の議論を経て、提案は賛成多数で承認された。

III-2 PASJサイトライセンス導入の承認（資料4，松尾）

現在は設定されていないサイトライセンス制度の導入の検討を進め、機関規模、および販売価格を検討した。これに対し、値上げ幅が大きいためもう少し価格を圧縮するべきである、機関規模をどのように算出するかを明確にすべきである、などの意見が出された。以上の議論を踏まえ、確認すべき事項は電子メールで後日審議する事を条件に、サイトライセンス制度の導入の基本方針を承認した。後日のメール審議により、価格設定を大幅に圧縮すること、および機関規模は丸善と利用者間で交わされるアンケートシートで回答してもらい、天文学会事務でも確認することを全理事一致で承認した。

以上の議論の結果、サイトライセンス制度の導入を承認した。

III-3 2013年度事業計画書案（資料8，本原）

2013年度事業計画書案が説明された。細かな字句の誤りなどの修正を条件に賛成多数で承認された。

III-4 2013年度予算書案（資料9，松尾）

2013年度予算書案が説明された。過去予算からの最大の変更は、新会計法に則った書式になったことで、一般会計と特別会計の明確な区別がなくなったことである。また、来年度は15カ月という変則的な年度であるため、会費収入は1.25倍にとどまるのに対し、各賞の表彰経費は2倍、年会開催費用は1.5倍など支出がそれを上回る。このため、最終収支は600万円の赤字となっている。

これに対し、予算書式の新旧対応はどのようになっているのかなどの質問がなされた。さらに、そもそも経費増大分を考慮したとしても赤字額が大きすぎるのではないかと、15カ月年度の影響で個々の事業ごとにどの程度の収支悪化が予想され、それと今回の予算との乖離をチェックすべきではないか、などの指摘がなされた。以上の議論を踏まえ、個別の予算積み上げを再度詳細に行い、その確認と承認はメール審議とすることとした。

後日、経費の圧縮を含む各項目の見直しを行い、最終赤字額を350万円にまで圧縮した予

算案をメール審議し、全理事一致で承認した。以上の手続きを経て、2013年度予算書案は承認された。

### III-5 新法人の細則の承認（資料10, 杉山）

現在の各種細則を、新法人の定款に合うように修正・新設・廃止する。

- ・「会費に関する細則」の変更  
賛成多数で承認された。
- ・「天体発見賞に関する細則」の内規への変更  
他の各賞の規定が内規なのに対し、天体発見賞のみ細則であった。これは、昭和12年制定という歴史的経緯によるものである。  
賛成多数で承認された。
- ・「評議員選挙施行細則」の廃止  
賛成多数で承認された。
- ・「理事長選挙施行細則」の廃止  
賛成多数で承認された。
- ・「会長・副会長・理事・監事選考細則」の新設  
賛成多数で承認された。
- ・「役員の報酬及び費用に関する細則」の新設  
新定款では常勤理事を設置することが可能となっているが、その場合には新法人移行申請時にこの規定をあわせて提出する必要がある。  
賛成多数で承認された。

### III-6 年会費のコンビニ支払いの導入（資料11, 本原）

現在、天文月報にはさみこまれている年会費の支払いのための郵便振替用紙を、コンビニ支払い用紙へ変更する。メリットとして24時間手数料なしで会費の支払いが可能となること、事務手作業が激減するため効率の向上と入力ミスのリスク低減が期待されることなどがある。ただし、コンビニがない地域の会員は郵便振替手数料が新たに発生する。このため、現在も行っている口座自動引き落としを推奨するキャンペーンを平行して行う。この提案は、賛成多数で承認された。

今回の理事会は日本天文学会2012年秋季年会期間中に開催される。

#### [資料リスト]

- 資料1 (社)日本天文学会理事会出欠表
- 資料2 前回理事会議事録（2012年3月19日）
- 資料3 入退会報告
- 資料4 PASJ編集委員会からの報告および議案
- 資料5 事務所報告
- 資料6 2012年秋季年会準備状況

資料7 次期役員候補者

資料8 2013年度事業計画書(案)

資料9 2013年度予算書(案)

資料10 新法人細則・内規案

資料11 会費コンビニ納入システム導入について

2012年9月3日

議長：岡村定矩 印  
署名人：竹田洋一 印  
署名人：本原顕太郎 印

### 【日本天文学会評議員会議事録】

日時：2012年7月14日（土）13:00～17:00

場所：東京大学理学部1号館336号室

出席評議員：岡村、牧島、井上、奥村、渡部、市川、佐藤、林（正彦）、林（隆之）、観山（以上10名）

欠席評議員：伊藤、海部、劉、須藤、嶺重、家、池内、犬塚、柴田、杉山（以上10名）  
事前に、伊藤、劉、須藤、嶺重、池内、犬塚、杉山評議員からは委任状が提出されている。

その他、河合副理事長、本原・竹田庶務理事、松尾・田代会計理事、茂山PASJ理事、西野事務長が出席した。なお、岡村理事長と杉山副理事長は評議員を兼任している。

#### I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち、出席者と委任状をあわせて17名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また議長と署名人が以下のとおり選出された。

議長：渡部潤一  
署名人：林 正彦、佐藤勝彦

I-2 資料2に基づき、前回2012年3月20日の評議員会議事録の確認が行われた。

#### II. 報告

##### II-1 理事会報告（本原）

本原庶務理事より、6月23日に行われた理事会の報告がなされた。

##### II-2 事務所報告（西野、資料3）

現在11名が事務所で作業している。

##### II-3 学術会議報告（観山、井上、資料4）

提言書「我が国の宇宙政策のあり方と宇宙科学の推進について」を出した。半年以上をかけ、様々な査読を通過したものである。

また、中規模の将来計画（科研費では実現困

難で、100億円以下のもの)で良い物を取り上げ、推薦する予定。各研究者団体に、分野ごとに優秀な中規模計画に順位をつけて推薦の依頼をしている。

- II-4 IAU報告(岡村, 配布資料)  
IAU北京総会が8月に開催される。SOCには多くの日本人が入っているが、会員比率を考えるともう少し多くてもいいくらいである。
- II-5 ACM2012開催報告(渡部, 資料12)  
震災の影響で延期されていたACM2011が、一年遅れでACM2012として5月に開催。300名近くの参加があった。
- II-6 次期役員・委員会について(本原, 資料6)  
次期役員、委員の候補者が会長・副会長を除き確定した。
- II-7 会長・代議員選挙について(本原)  
7月20日が立候補締め切り、8月7日より投票が開始されて9月7日開票となる。
- II-8 新法人移行作業について(本原)  
6月4日に新法人移行申請を行った。申請の受付の連絡は既にあり、順調に進めば今年中に新法人に移行できる。
- II-9 新法人の内規について(岡村, 資料7)  
現在の細則と内規は歴史的な背景もあって複雑なものになってしまっている。新法人への移行に際して、細則および内規の体系の見直しを行っている。内規については理事および各委員会委員長に回覧して意見収集した後、秋の評議員会での承認を考えている。
- II-10 年会費のコンビニ支払の導入(本原, 資料8)  
現在、天文月報にはさみこまれている年会費の支払いのための郵便振替用紙を、コンビニ支払い用紙へ変更することを決定した。
- II-11 日韓合同セッションについて(河合)  
2013年春季年会で、企画セッション「宇宙天気と宇宙気候(space weather and space climate)」として日韓合同セッションを行う。世話人は柴田、草野、常田、小原、浅井氏と、韓国側3名の予定。
- II-12 100周年記念出版事業の残金の取り扱い(岡村)  
現在ある残金(約200万円)で、7月10日に刊行された用語集を購入し、賛助会員に配布する。残り、現代の天文学シリーズを購入し、希望する全国の高校・大学学部へ寄付する。希望するところには、理由と利用方法そえて応募してもらう予定。

### III. 議題

- III-1 PASJサイトライセンス導入の承認(茂山, 資料5)  
現在は設定されていないサイトライセンス制度の導入の検討を進め、機関規模に応じた価格設定を行うこと、および販売価格が提案された。理事会での議論を踏まえ、特に研究室レベルの小規模購読者の価格を大幅に圧縮した。これに対し、国内外での価格差は何によるものなのか、という質問が出され、これは国外の契約手続きで経費が余分にかかっているためであると説明された。また、卸値と販売価格の差が大きいのではないかと指摘があった。取次の丸善が行う作業は契約手続きだけであることから、販売価格の引き下げの交渉を行うことが求められた。以上の議論を経て、提案は承認された。
- III-2 OUPへの製作販売委託の提案(茂山, 資料5)  
現在のPASJの大きな問題として、編集部の人手不足から受理から出版まで5~6カ月かかってしまうことがある。これに対し、誌面制作のサポートと販売をOxford University Press(OUP)に委託することが提案された。メリットとしては、受理から電子版の公開まで6週間以内となること、印刷代の大幅な圧縮、OUPへの販売委託による購読数の増加が期待できる、投稿・査読がすべてweb上で行える、などがある。デメリットは、為替レートの変動リスク、イギリスのインフレ率に合わせた年間数%の値上げ、E-openの大幅な値上げ(論文あたり20万円程度)などがある。これに対し、機関購読料の値上げは大規模機関を大きくし中小はできるだけ抑えるという手段もある、かつてApJがIOP Publishingに移行したときはトラブルが続出したがOUPは大丈夫なのか、出版までの時間が短縮されるのは非常に重要であるので前向きに進めるべきである、などの意見が出された。  
以上の議論を踏まえ、今回の承認は見送り、国内の他の学会誌でOUPに移行したところトラブルの有無や印象などのアンケートを取るなど追加調査を行うこととした。次回評議員会で再度議論する。
- III-3 2013年度事業計画書案(本原, 資料9)  
2013年度事業計画書案が説明された。字句の誤りなどの修正の指摘後、承認された。

### III-4 2013年度予算書案（松尾，資料10，配布資料）

2013年度予算書案が説明された。過去予算との最大の変更は、新会計法に則った書式になったことである。来年度は15カ月という変則的な年度であるため、会費収入は1.25倍にとどまるのに対し、各賞の表彰経費は2倍、年会開催費用は1.5倍など支出がそれを上回る。このため、最終収支は350万円の赤字となっている。

これに対し、新書式の見方がわかりにくいので、総会では十分な説明が必要であることが指摘された。

以上の議論を経て、2013年度予算書案は承認された。

### III-5 秋季定期総会議題案（本原，資料11）

若干の修正の指摘後、承認された。

### III-6 新法人の細則・内規の承認（岡村，資料7）

現在の各種細則を、新法人の定款に合うように修正・新設・廃止する必要があるため、細則の新設と廃止、および内規の廃止を審議した。内規の修正ないし新設は、関連する委員長などの確認を経て、次回の評議員会で審議する。ただし、「日本天文学会天体発見賞内規」については、委員長が会議に出席しており確認が取れたため、今回審議した。

- ・「会費に関する細則」の変更  
説明後、賛成多数で承認された。
- ・「会長・副会長・理事・監事選考細則」の新設  
賛成多数で承認された。
- ・「役員の報酬及び費用に関する細則」の新設  
新定款では常勤理事を設置することが可能となっているが、その場合には新法人移行申請時にこの規定をあわせて提出する必要がある。  
賛成多数で承認された。
- ・「日本天文学会委員会などに関する共通内規」の廃止  
各種委員会の定義などに関する規則は、内規よりも上位の細則で定義すべきであるという説明がなされた。同等の細則を新設することを条件に賛成多数で承認された。
- ・「日本天文学会委員会などに関する細則」の新設  
賛成多数で承認された。
- ・「天体発見賞に関する細則」の廃止

他の各賞の規定が内規なのに対し、天体発見賞のみ細則であったことが説明され、同等の内規を新設することを条件に、賛成多数で承認された。

- ・「日本天文学会天体発見賞内規」の新設  
賛成多数で承認された。
- ・「評議員選挙施行細則」の廃止  
賛成多数で承認された。
- ・「理事長選挙施行細則」の廃止  
賛成多数で承認された。
- ・「日本天文学会100年史編纂委員会に関する内規」の廃止  
賛成多数で承認された。

今回の評議員会は、2012年9月20日、秋季年会期間中に大分大学で開催される。

[資料リスト]

- 資料1 評議員会出欠表
- 資料2 前回評議員会議事録
- 資料3 事務所報告
- 資料4 学術会議報告
- 資料5 PASJ編集委員会からの報告および議案
- 資料6 次期役員候補者
- 資料7 新法人の規則案
- 資料8 年会費のコンビニ支払いシステム導入について
- 資料9 2013年度事業計画書(案)
- 資料10 2013年度予算書(案)
- 資料11 2012年度秋季定期総会議題(案)
- 資料12 Asteroids, Comets, Meteors 2012 開催報告
- 配布資料 IAU北京総会の科学ミーティングのSOCを務める日本人
- 配布資料 予算書追加資料

2012年8月27日

議長：渡部潤一 印  
署名人：佐藤勝彦 印  
署名人：林 正彦 印



## 【！！会費納入方法が変わります！！】

これまで、会費納入は『天文月報』1月号にゆうちょ銀行の払込取扱票（手数料は学会負担）を同封しておりましたが、来年度からはこれを、コンビニ払込票に変更します。

この払込票は、期限内であれば全国のコンビニエンスストアからいつでも入金可能ですが、ゆうちょ銀行（郵便局）では使えませんのでご注意ください。支払期限を過ぎた場合も、使用できなくなります。

ただし、ゆうちょ銀行（郵便局）に備え付けの払込取扱票を使えば、これまでどおり日本天文学会の口座に送金することも可能です。その場合は、手数料をご負担いただきます。

また、三菱東京UFJ銀行の口座への振り込みも従来どおり可能です。こちらも手数料自己負担になります。

この機会に会費の口座自動引き落としへのお申込みをお勧めします。

ご希望の場合は、日本天文学会事務所へご連絡ください。申込用紙をお送りします。

申込締切：2012年11月9日（金）学会事務所必着  
《お問い合わせ先》

社団法人 日本天文学会事務所  
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台内  
Tel: 0422-31-1359 Fax: 0422-31-5487  
e-mail: jimmu@asj.or.jp

## 訂 正

天文月報2012年（第105巻）9月号表紙タイトルに間違いがありました。

お詫びして訂正させていただきます。

誤) フェルミ・バブルか銀河系中心の過去の活動性  
正) フェルミ・バブルから探る銀河系中心の過去の活動性

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード（5桁の数字と）**vol198**（5文字）の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

柏川伸成（編集長）、市来浄與、勝川行雄、鈴木 建、徂徠和夫、竹井 洋、野田寛大、浜名 崇、廣田朋也、前野将太、山崎 了

平成24年9月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献印刷社

定価700円（本体667円）発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）／0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©社団法人日本天文学会2012年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）